

スマイルまなづる 122号

真鶴町立まなづる小学校
令和5年度学校だより
4月19日(水)

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



今年度もどうぞよろしくお願ひいたします

今年度の取り組み③「教科担任制（担任以外の先生方との学習）」

令和5年度がはじまって2週間ほどとなりました。子供たちは、新しい学年になったという自覚をもち始め、何事にも意欲的に取り組んでいます。新しいことに出会うこともありますが、友達と協力しながらチャレンジしていこうとしています。

このように、まなづる小の子供たちは一人一人輝くものをたくさんもっており、その輝きを全職員で引き出していきたくと考えています。そのための一方策とするのが「教科担任制」です。教科担任制には様々なメリットがあります。主としては、より多面的に子供たちを見ることができ、子供たち一人一人への理解が深まることです。また、先生方の専門的な部分を生かしていくため、よりわかりやすい授業につながっていきます。この体制づくりには、町の教育委員会からも大きなサポートをいただいています。

【教科担任となる教科】



(佐々木先生)

5・6年生の【算数】
3・4年生の【図工】



【音楽】(平井先生)

4・5・6年



【外国語5・6年】

【外国語活動3・4年】

(新井先生)

【家庭科】

5年(川口教頭先生)

6年(鈴木満先生)

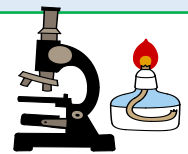
【書写】

3年(佐々木先生)

6年(露木校長)



理科の実験などのサポートをしてくださる鈴木先生



【交換授業】

◎5・6年生・・・5年担任の吉澤先生が理科、6年担任の古本先生が社会を担当します。
(学年を越えて行う初の交換授業です)



吉澤先生は、理科が大好きです。昨年度も上学年の理科で楽しい実験をたくさんしました。



古本先生は、昨年度5年の社会で、自ら地域のことを熱心に調べて、授業行いました。

<本校のホームページについて>

昨年度の10月頃から不具合がおき、更新したりアップしたりすることができない状況でしたが、やっと修理がおわりました。子供たちの活動の様子をお伝えしていきます。ご覧ください。

<熱中症対策とする判断について>



本校では、校内・校外の学習活動を実施するかどうかについて、環境省が作成している「暑さ指数（WBGT）」を基準にして判断していきます。温暖化に伴い、1学期から気温の高い日があることが想定されます。運動場における活動に加え、校外学習や外で行う活動（運動会の練習や海の学校、野外活動クラブなど）について、次の状況となった場合においては、

原則、実施せず、子供たちの命を守ることを優先

にしたいと考えます。

- 活動場所における暑さ指数（WBGT）が「危険」（指数31以上）
- 熱中症警戒アラートの発令
- 活動できないほどの悪天候・2つ以上の注意報の発令

暑さ指数が低いからといって、安心できるものではありません。気温や活動場所により熱中症対策を講じながら活動をしていきます。他にも対策として、活動ボランティアをお願いすることもございます。その際は、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

暑さ指数 (WBGT) による基準域
危険 31以上
嚴重警戒 28以上 31未満
警戒 25以上 28未満
注意 25未満

<熱中症を防ぐポイント>

～熱中症 環境保健マニュアル2022より～

①顔色や汗のかき方を観察します

顔が赤く、ひどく汗をかいている場合は、深部体温がかなり上昇していると推察できるので、涼しい環境下で休息します。

②適切な飲水行動を学びます

のどの渇きにに応じて適度な飲水ができる（自由飲水）能力をつけます。

③日ごろから暑さに慣れましょう

適度に外遊びをし、暑熱純化（体が暑さに慣れること）を促進させましょう。

④服装を選びましょう

熱放散を促進する適切な服装を選択し、環境条件に応じて衣服の着脱をしていきましょう。

<就学援助制度について>

町立の小中学校にお子さんが通学されるご家庭で、経済的理由によりお子さんの就学について困っている場合、学用品の購入や給食費など教育費の一部を援助する制度があります。詳しくは、真鶴町のHPをご覧ください。